



「世界の北海道」を目指して  
—北海道総合開発計画—



ウポポイ  
NATIONAL AINU MUSEUM and PARK  
民族共生象徴空間

北海道白老町に2020 OPEN!

令和元年9月26日

## 京都の高校生が函館港の歴史と役割を学びます！

～マリンエンジニアを目指す17名に出前講座を実施～

函館港湾事務所は、今年も京都府立海洋高等学校からの依頼を受け、海洋土木や作業潜水を学ぶ学生の研修の一環として、出前講座を実施します。

函館港の歴史と役割について説明した後、当部港湾業務艇「みずなぎ」にて函館港内を巡り、整備中の若松地区クルーズ船岸壁工事や浚渫工事について説明します。また、この日に寄港予定のシルバー・ミュージズを海側から間近に見られる機会でもあります。

北海道開発局では、北海道開発行政に関する情報を提供することを目的に、各開発建設部で出前講座メニューを設け、ホームページでご案内しています。

<https://www.hkd.mlit.go.jp/hk/kouhou/eqp9bq000000iad.html>

### 記

日時： 令和元年10月9日（水）13：30～15：00  
※ 昨年の実施状況は、別紙「函建の活動紹介」参照

場所： 函館港湾事務所（函館市海岸町25番7）

参加者： 京都府立海洋高等学校 海洋工学科 海洋技術コース第2学年17名  
教諭1名

※ 港湾業務艇「みずなぎ」への乗船を希望される報道機関の方は、10月4日（金）までに広報官にお知らせください。

事前のお申込みがないと乗船できない場合があります。

【問合せ先】国土交通省 北海道開発局 函館開発建設部 函館港湾事務所

副所長 おかもと 岡元 節雄 (0138)41-4156 (内線22)

第1工務課 課長 はやし 林 誉命 (0138)41-4156 (内線31)



函館開発建設部ホームページ <https://www.hkd.mlit.go.jp/hk/>

# 函建の活動紹介

VOL.12

発行：広報官

平成30年11月1日

函館港湾事務所は、平成30年10月16日(火)13:05~14:40、修学旅行で函館を訪れた「京都府立海洋高等学校海洋工学科海洋技術コース」の2年生17名と教諭2名を対象に、出前講座を行いました。

出前講座とは、当部の事業に実際に携わっている職員が、開発行政の施策や事業に関するテーマを分かりやすくお話しするものです。

まずは、港湾業務艇『みずなぎ』にて函館港内を巡りました。



船舶免許を有する生徒さんもいて、乗船前から船体に興味津々の様子でした。

途中、コックピットも見学。



函館港からのフェリー航路は、「青森航路と大間航路があります。」(説明者は函館港湾事務所副所長)



「弁天地区の西防波堤は、完成から100年が経過しています。」



続いて、『函館港の歴史と役割』について説明し、生徒代表から感謝の言葉が述べられました。

「若松地区のクルーズ船岸壁(緑枠内)は、10月から使用可能になりました。」(背後は青函連絡船摩周丸)





# 港湾業務艇『みずなぎ』の函館港内航路(赤線で表示)



出前講座をご利用ください！ (<https://www.hkd.mlit.go.jp/hk/kouhou/eqp9bq000000iad.html>)